

加茂谷中学校では 2007 年より、アフガニスタンにランドセルを送るボランティア活動をしています。今年も協力していただいた募金で、その活動をしている団体に送り、アフガニスタンまで寄付されたランドセルを送ります。

アフガニスタンでは、紛争により多くの人々が難民として困難を抱えながら生活をしています。また、宗教上の理由から「女性は男性と一緒にないと外出してはいけない」「女性が外に働きに出てはいけない」などの女性に対する制限が多く、女の子が学校に通えない現状があります。そうすると女の子は若くして結婚して出産するような事例も少なくありません。

ランドセルを背負った子供たちが学校に通う姿が学校の象徴となり、「うちの子も学校に行かせたい」と保護者が考える効果があるそうです。加茂谷中学校の生徒たちも「ランドセルを背負うことでわくわくする」「ランドセルを背負うことで安心して学校に通えるようになる」「野外教室のような場所でもランドセルを机やイス代わりにして使うことで学習ができるようになる」といったような意見を出してくれました。



ランドセルを送ることの意義について学習しました。



6年間大切に使われて寄付されたランドセルをきれいにして送る準備をします。



ランドセル募金、一年ぶりにできてよかったです。私たちが学校に行けるのは当たり前ではなく感謝すべきことだとあらためて気づかされました。

何年もやっていますが、自分の使ったランドセルが別の場所で使われると思うととてもいい気持ちです。

「ありがとう」を行動に

3年生が卒業して一週間がたとうとしています。卒業式に向けての準備や卒業式は、「3年生を気持ちよく送り出したい」という気持ちがあふれていました。

1・2年生は、寂しさも感じながら、新しい年に向けて準備を始めています。そんな今、たくさんの「ありがとう」が学校にあふれているように思います。



「おはなし広場」で読み聞かせをしてくださっているグループ代表の田中さんに、お礼の図書カードを送付したところ、次のようなはがきをいただきました。「前略 昨日は、お心遣いのお品をありがとうございます。生徒さんたちに本を読ませていただくだけでもありがたく思っておりますのに、ご褒美までいただき恐縮いたしております。ありがとうございます。また次年度も本読みの機会を与えてくださいますよう、お願いいたします。ありがとうございます。」

地域の方や周りの方の支え、友達、先生、家族の存在や支えに「ありがとう」の気持ちをもちながら毎日の生活を送ることで何気ない出来事が豊かになっていくのではないのでしょうか。これからも「ありがとう」の気持ちや言葉、その気持ちを行動で表すことを大切にしていきたいですね。